

播磨臨海地域

カーボンニュートラルポート形成計画について

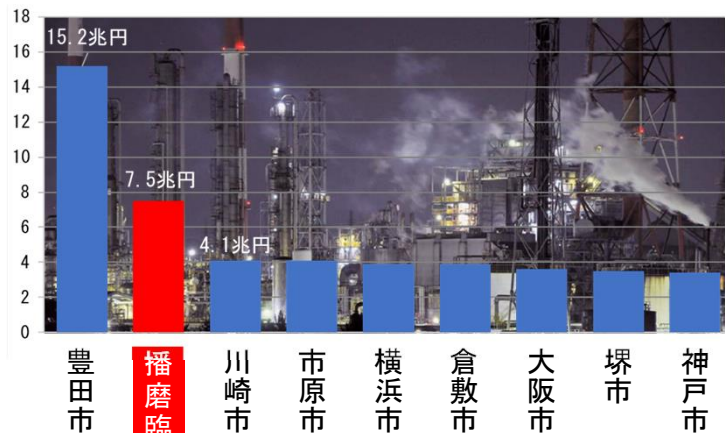


1 播磨臨海地域の特徴①

- 播磨臨海地域は、日本を代表する多様な企業の製造拠点が集積する全国屈指のものづくり拠点で、製造品出荷額は全国第2位。

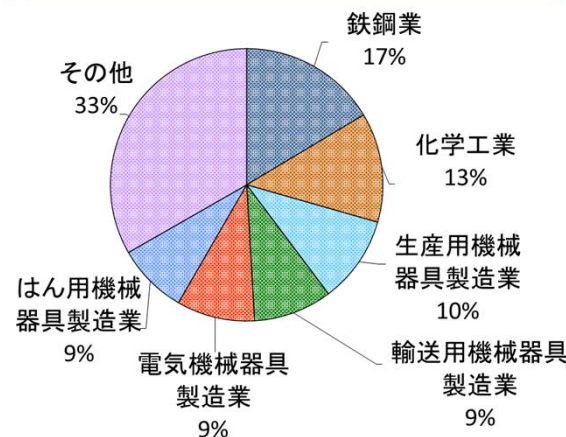


播磨臨海地域の製造品出荷額は全国第2位



※播磨臨海地域：神戸市西区、明石市、稲美町、播磨町、加古川市、高砂市、姫路市、太子町

製造品出荷額(7.5兆円)の内訳



世界トップシェア等一覧表

企業名	製造品名	シェア
(株)ダイセル	液晶ディスプレイ光学フィルム用酢酸セルロース	世界No.1
(株)日本触媒	高吸水性樹脂	世界No.1
(株)カネカ	プラスチック樹脂改質材	世界No.1
(株)神戸製鋼所	アルミディスク材	世界No.1
三菱重工業(株)	排煙脱硝装置、ガスタービン	世界No.1
AGC(株)	自動車用ガラス、FTFE樹脂	世界No.1
川崎重工業(株)	産業用ホット(半導体カッター搬送用)	世界No.1
日本製鉄(株)	薄板(ブリキ)、鉄道車両用ブレーキリバ、高速鉄道用車輪・車軸	国内No.1
山陽特殊製鋼(株)	軸受鋼	国内No.1

出典：播磨臨海地域道路パンフレット(兵庫県、発行日：令和4年5月1日)等

1 播磨臨海地域の特徴②

- 播磨臨海地域は、電気やガスなど多くのエネルギー産業が立地する近畿のエネルギー供給基地で、姫路港のLNG発電所の認可出力は瀬戸内海港湾で第1位。



姫路港のLNG発電所の認可出力は瀬戸内海港湾で第1位

瀬戸内海でLNG発電所が立地する港湾

港湾	発電所	認可出力 (万kw)
1 姫路港	姫路第一、第二	443.0
2 堺泉北港	堺、泉北天然ガス	310.9
3 大分	新大分	282.5
4 大阪港	南港	180.0
5 北九州	新小倉	180.0
6 柳井港	柳井	140.0
7 水島港	水島	62.5
8 坂出港	坂出	58.5



1 播磨臨海地域の特徴③

- 姫路港及び東播磨港は、LNGや鉄鉱石を背後圏に供給するサプライチェーン拠点を形成している。
 - ・ **姫路港**はLNGが最も多く、輸入量は全国第3位。
 - ・ **東播磨港**は鉄鉱石等が最も多く、輸入量は全国第3位。

姫路港のLNG輸入量は全国第3位

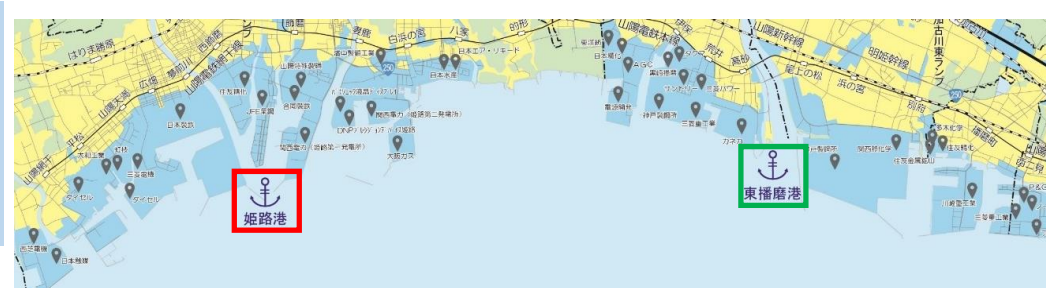
港湾名	LNG輸入量 (千t)
1 木更津港	20,746
2 千葉港	18,753
3 姫路港	16,935
4 名古屋港	14,923
5 川崎港	14,506
6 四日市港	11,994
7 堺泉北港	7,637
8 新潟港	7,172
9 横浜港	6,712
10 直江津港	5,255

出典：R2年港湾統計調査（国土交通省）

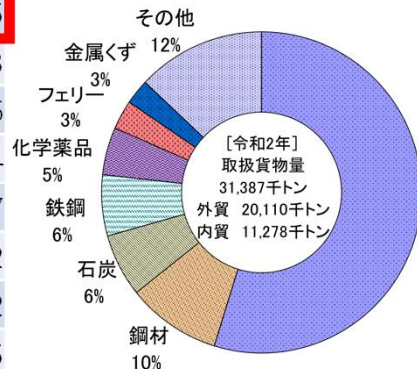
姫路港輸入LNGの輸入元シェア

輸入元	割合 (%)
オーストラリア	27
ダンビア	11
ダーウィン	3
グラッドストーン	1
諸港	1
インドネシア	7
ポンタン	6
諸港	1
パプアニューギニア	9
ポートモレスビー	9
カタール	9
ラスラファン	2
コーバスクリスティ	5
諸港	2
アメリカ	20
その他	20
合計	100

西オーストラリア州の港

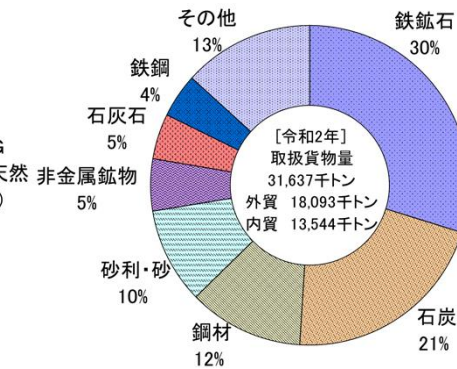


姫路港の年間取扱貨物量(注)



東播磨港の年間取扱貨物量(注)

(注) 取扱貨物量は、搬入量+搬出量



東播磨港の鉄鉱石輸入量は全国第3位

港湾名	鉄鉱石輸入量 (千t)
1 福山港	14,887
2 大分港	12,654
3 東播磨港	9,415
4 水島港	9,382
5 名古屋港	9,368
6 木更津港	8,265
7 鹿島港	7,284
8 北九州港	5,877
9 和歌山下津港	5,487
10 千葉港	5,331

出典：R2年港湾統計調査（国土交通省）

東播磨港の輸入鉄鉱石の輸入元シェア

輸入元	割合 (%)
オーストラリア	32
ポートウルコット	22
ポートヘッドランド	5
ダンビア	1
グラッドストーン	1
中国	7
ダイレン (大連)	4
イエンタイ (煙台)	3
ブラジル	3
ボンタ ダ マディエラ	6
諸港	3
カナダ	3
ポートカルティエ	2
セティル	2
諸港	2
アルゼンチン	5
サンニコラス	9
その他	5
合計	100

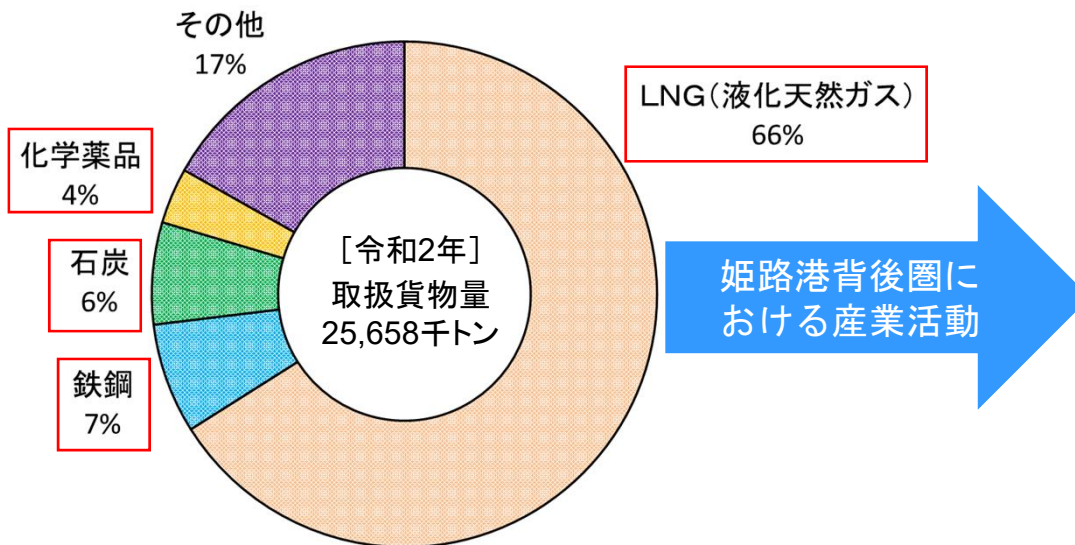
西オーストラリア州の港

1 播磨臨海地域の特徴④

- ・ **姫路港**では、主にLNG、鉄鋼（銑鉄、粗鋼等）・石炭、化学薬品等を搬入し、鋼材（形鋼、鋼板等）・化学薬品等を搬出している。

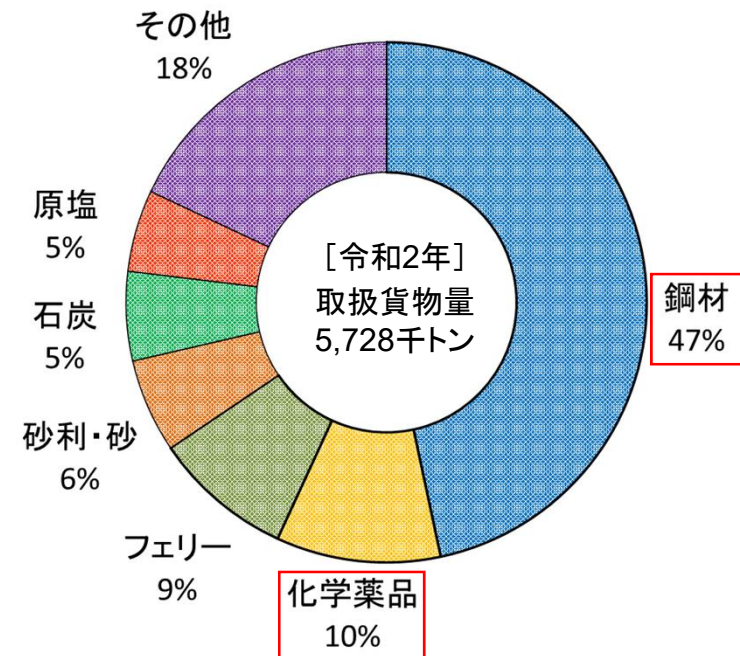
姫路港に船舶で**搬入**(注1)している
貨物量及び内訳

(注1) 搬入は、移入+輸入



姫路港から船舶で**搬出**(注2)している
貨物量及び内訳

(注2) 搬出は、移出+輸出

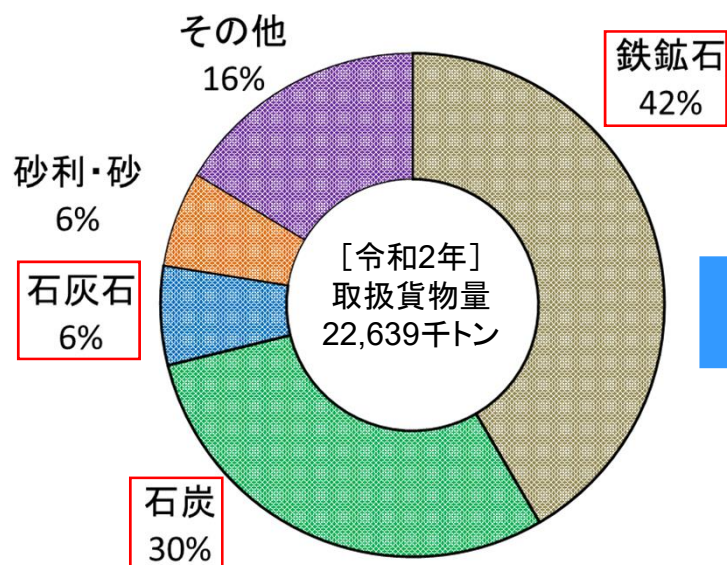


1 播磨臨海地域の特徴⑤

- ・東播磨港では、主に鉄鉱石・石炭や石灰石等を搬入し、鋼材（形鋼、鋼板等）・鉄鋼（銑鉄、粗鋼等）や砂利・砂等を搬出している。

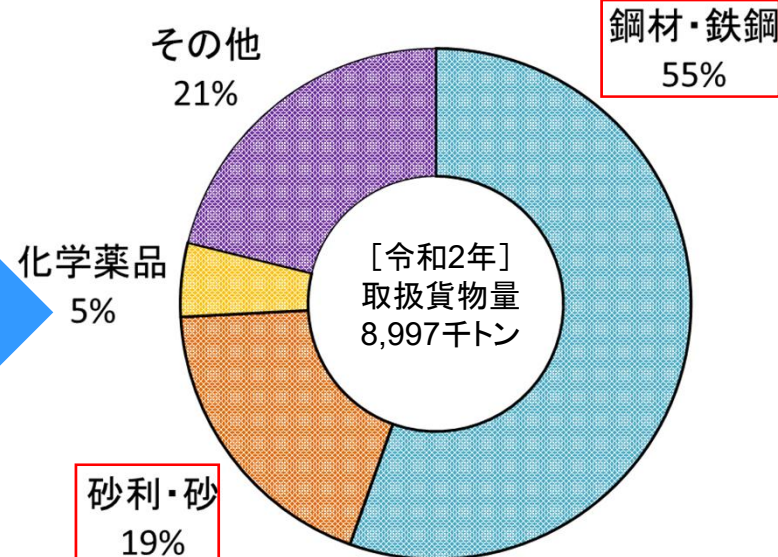
東播磨港に船舶で搬入している
貨物量及び内訳

(注1) 搬入は、移入+輸入



東播磨港から船舶で搬出している
貨物量及び内訳

(注2) 搬出は、移出+輸出



東播磨港背後圏に
おける産業活動

2 播磨臨海地域におけるカーボンニュートラルポート形成の必要性①

□ 姫路港は、水素、燃料アンモニア等の受入拠点の形成について、高い優位性を有している。

①姫路港のLNG輸入量は、国内第3位、西日本第1位

②背後圏の播磨臨海地域は、全国第2位の製造品出荷額

エネルギー需要大

③姫路港臨海部のLNG発電量は、瀬戸内海港湾で第1位

④LNGの最大の輸入元は、県と姉妹提携している西オーストラリア州の港

⑤播磨灘に位置し、他県瀬戸内海港湾との連携が容易

⑥姫路港は大型タンカーが接岸可能な水深14mの航路、岸壁がある

他県瀬戸内海港湾と連携が容易



大型タンカー接岸状況



姫路港妻鹿日田地区

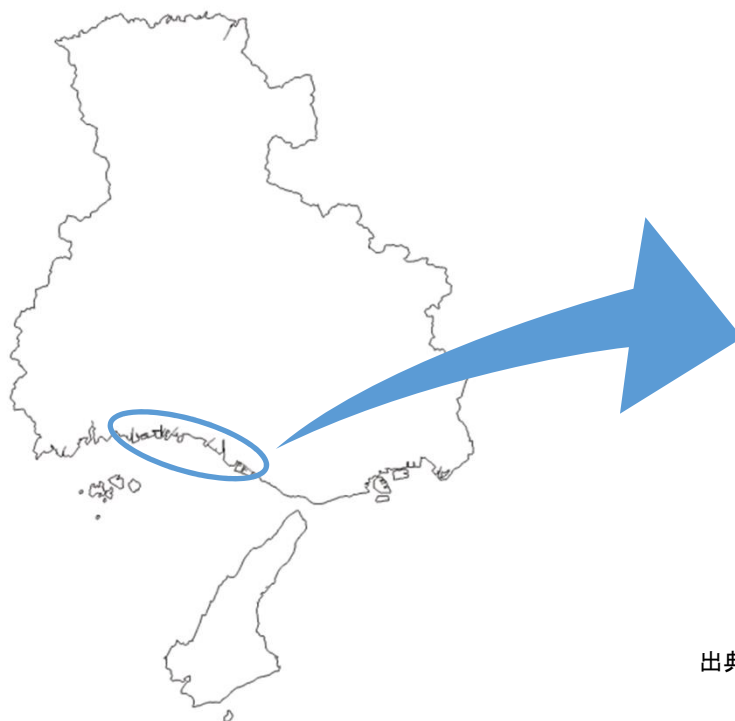
2 播磨臨海地域におけるカーボンニュートラル形成の必要性②

- 播磨臨海地域の企業のCO₂排出量※は、県全体(産業部門、業務部門)の半分近くを占めており、このエリアの脱炭素の推進は県全体のカーボンニュートラルの進展に大きく寄与。

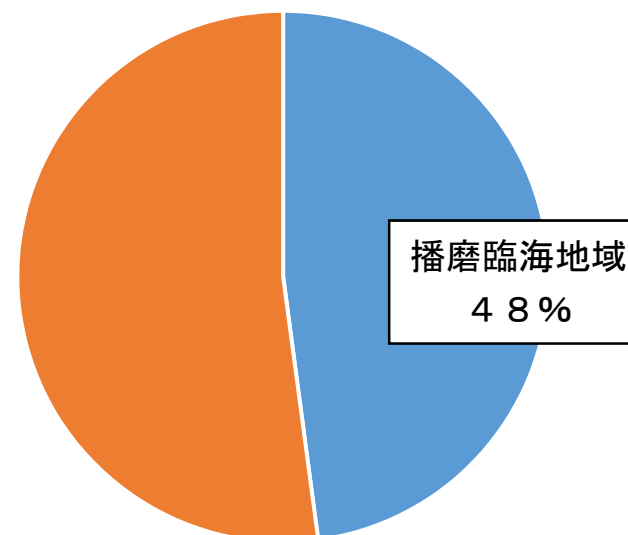
※ 姫路市、加古川市、高砂市の臨海部(工業専用地域及び工業地域)の企業^{注1}のCO₂排出量^{注2}

注1 原油換算エネルギー使用量1,500kℓ/年 以上

注2 5/27 県記者発表資料 (2019年度 (令和元年度) 温室効果ガス排出量 (速報値))



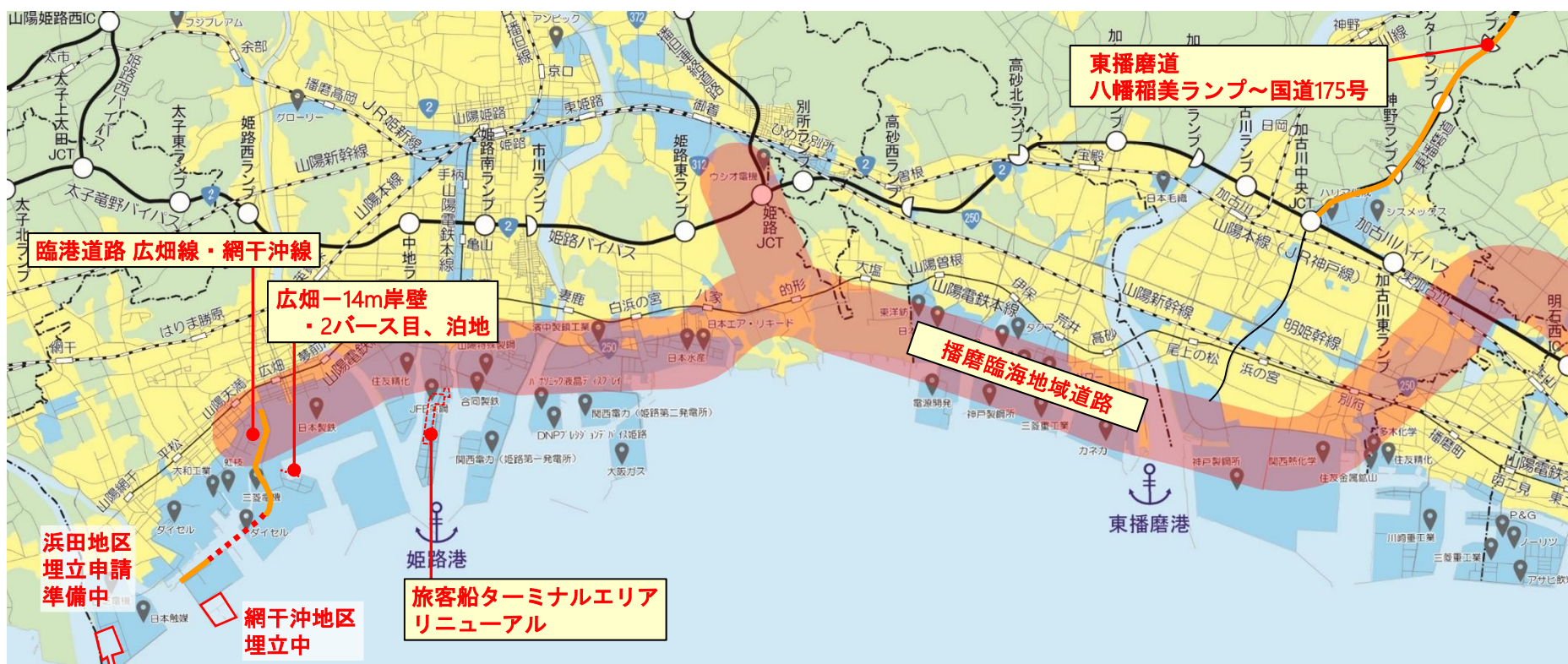
県内の産業部門と業務部門の
CO₂排出量(約4,368万t)の内訳



出典：5/27 県記者発表資料 (2019年度 (令和元年度) 温室効果ガス排出量 (速報値))

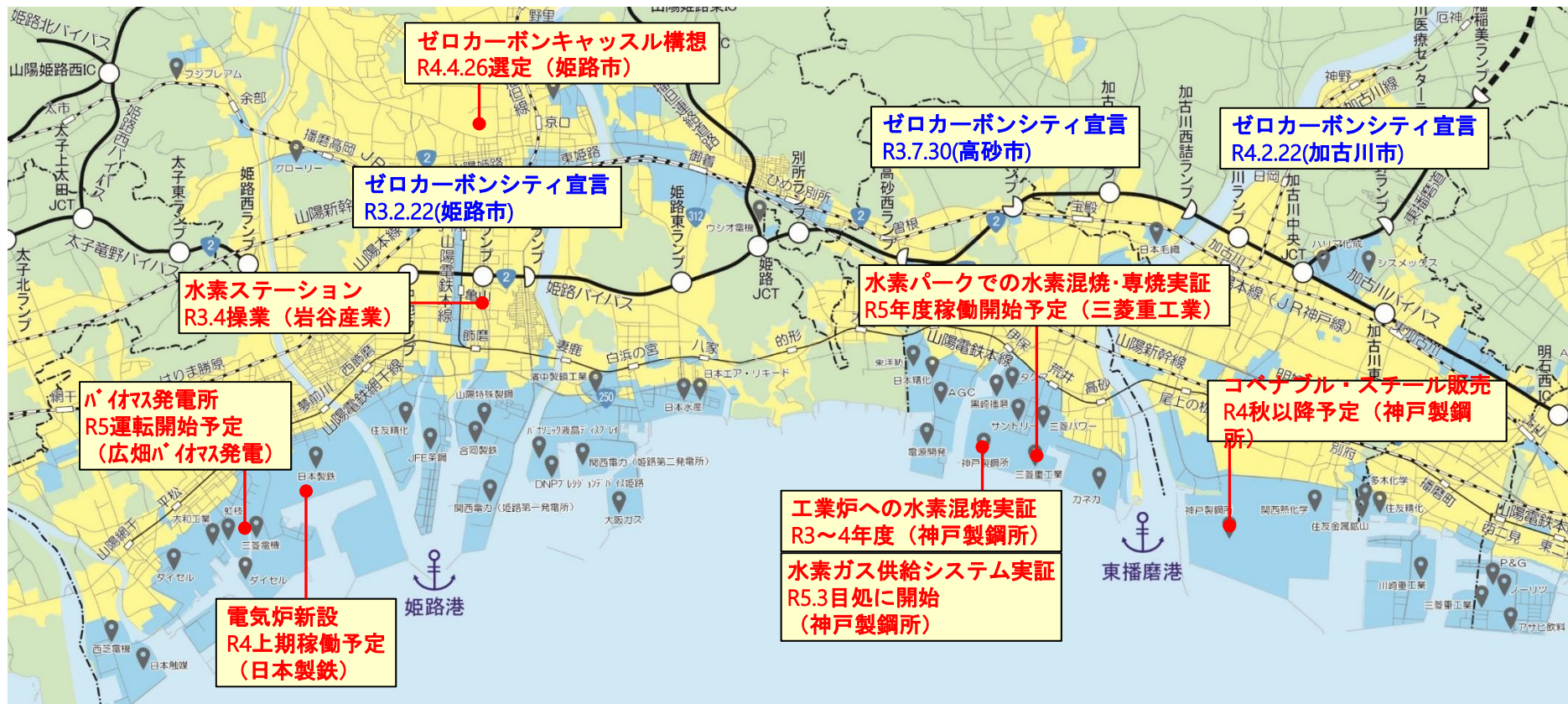
2 播磨臨海地域におけるカーボンニュートラルポート形成の必要性③

- 播磨臨海地域では、播磨臨海地域道路や臨港道路事業、埋立事業等様々な開発が進められており、これらと並行して脱炭素の取組みを進めることで、播磨臨海地域の面的なCNP形成の促進や、脱炭素の取組みがより広域的に発展することを期待できる。



2 播磨臨海地域におけるカーボンニュートラルポート形成の必要性④

- 播磨臨海地域では、すでに様々な脱炭素にかかる先進的な取組みが進められており、水素の利用も実際に始まっている。
- 「兵庫県地球温暖化対策推進計画」では、長期的な将来像として「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」の社会を目指しており、姫路市、加古川市、高砂市においてもゼロカーボンシティ宣言を表明している。



3 検討の進め方

- 協議会を5回開催し、令和5年度半ばを目途に播磨臨海地域CNP形成計画を策定することを目指す。

R 4	(7月29日)	第1回	カーボンニュートラルレポート形成計画の検討 (1) 基本的事項 (2) CO ₂ 排出量及び削減計画等アンケート調査実施概要
	(秋頃)	第2回	カーボンニュートラルレポート形成計画の検討 (1) CO ₂ 排出量及び削減計画等のアンケート結果 (2) 水素・燃料アンモニア等需要にかかるヒヤリング調査実施概要
	(年内)	第3回	カーボンニュートラルレポート形成計画の検討 (1) 水素・燃料アンモニア等需要にかかるヒヤリング調査結果 (2) 水素・燃料アンモニア等供給計画
	(年度内)	第4回	第3回までの議論を踏まえた カーボンニュートラルレポート形成計画の全体調整
R 5	(夏頃)	第5回	カーボンニュートラルレポート形成計画案とりまとめ